



ランナー vol.3

2018年1月



編集長 武藤の巻頭ご挨拶

明けましておめでとうございます。冬休みが終わり、今年も新しい年が始まりました。お正月はいかが過ごされましたでしょうか？家族で過ごされた方、旅行に行かれた方など様々だと思います。今年が皆様にとって、良い1年になることをお祈りしております！

それでは今年も引き続き、ご愛読の程、よろしくお願いいたします。



山ちゃんの西三河研究農場イチゴ便り

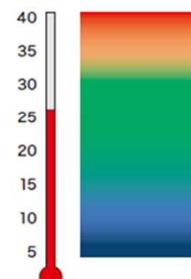
今作は日照不足でイチゴが不足気味ですが、本園では比較的順調に収穫できておりました。12月中旬頃には頂花房の大半が収穫終わりがけで、第1腋花房が少しづつ収穫でき始めている状況となっていました。

今回は、イチゴ栽培にとって重要な働きをしているミツバチについて簡単に説明しようと思います。イチゴの花を着果させて収穫するためには、受粉させることが必要不可欠です。そのため、ハウスのような閉鎖環境では、どうしてもミツバチのような花粉媒介者（ポリネーター）の導入が必要となります。受粉は、ハチの体の毛に付いた花粉が、雌しべの先につくことで行われます。ハチが花を訪れるのは、食料として花粉と蜜を集めますが、その結果受粉が行われ、次に働いてくれる幼虫も育ちます。

ミツバチは巣内の温度を約34℃に保ち、産卵・育児を行います。温度調節に失敗すると育児ができず、ミツバチの数が激減します。寒さに対してはハチ球を作って温め、暑さに対しては扇風行動などによって温度を下げます。訪花活動は気温10℃以上で開始し、20~25℃で盛んになります。それ以上にハウス内の気温が高くなると、飛翔するハチの数が増えますが、訪花するハチの数は増えません。

農薬の使用については、ミツバチに対する毒性が高い農薬でも、訪花行動には影響が出やすく、長期的には栽培に影響が出ることもあります。ハチに対する影響が低い農薬を選ぶとともに、散布時には必ず散布前日の日没後に巣箱をハウスの外に出します。殺菌剤であっても同様です。ハウスの外に出している間は、巣箱の中が高温にならないよう巣門などからの換気に気をつけ、戻すときには、ミツバチに対する安全日数を確認のうえ、必ず元の場所に置きましょう。

今回説明した他にもミツバチを使用するにあたって、ポイントや注意点などがありますので、日本養蜂協会のHPの確認や、養蜂家さんに伺うより詳しく知ることができます。



大地の千葉研究農場トマト便り

明けましておめでとうございます。新年の目標は、普及指導員の合格です。千葉農場の森内です。

さて農場では、フタバ産業さんのCO₂貯留・供給装置“アグリーフ。”の設置を行いました。これは、暖房機の排ガスからCO₂のみを回収し、再利用できる装置です。“アグリーフ。”を使用することで、従来の燃焼方式のCO₂発生機よりもクリーンで、ランニングコストも抑えたCO₂施用が可能になります。また、熱交換の冷却技術により施用されるCO₂は常温まで冷やされるので、日中でもハウス内の気温を上げることができます。

まだ設置をして数週間しか経っていませんが、比較的低い肥料濃度でも樹勢が強くなった気がします。

まだまだ、もっと魅力を発掘するために観察を続けていきたいと思います。



農場に設置された“アグリーフ®”

気になるあの人へのインタビュー



プロフィール

取締役専務 塚井 修一(68)

主な経歴

1968年 3月	入社
1981年 4月	関東支社 支店長就任
1986年 12月	取締役 関東支社 支社長就任
1991年 5月	常務取締役就任
2008年 6月	取締役専務就任

——大仙が今後も続していくために大事なことは何でしょうか？

これからは、「会社の価値を提供する」ということが大事になってきます。会社としての価値というのは、そこで働く人の価値、提供するものの価値といった会社を支えるすべてのものの価値のことです。社員一人一人の価値が上がり、結果として会社の価値も上がります。そのため、社員一人一人が意識をもって自分の価値を高めることが重要です。例えば、英語を学ぶというのも価値を高めることの一つと言えます。

お客様の要望を第一に考え、それを達成していくことで、おのずと信頼を得ることができます。信頼に対して、会社の価値を提供することで答えていく。これをきちんと行っていくことが、今後も継続していくために大事なことです。

——私も社員の一人として、自分の価値を高める行動をしていかなくてはと思いました。ありがとうございました。

ゆうさんの水族館豆知識

水族館豆知識 Part1

ここから数回は水族館豆知識と題しまして、水族館に行ったら披露したくなる豆知識をお伝えしていきます。

第1回目は、サメについてです。



水族館に入って水槽を眺めた時、こんな事を思ったことはないですか？



サメがいる水槽にはほかの魚もいるけど、サメに食べられたりしないのかな？



海の中では圧倒的強者のサメがほかの魚と泳いでる？なぜこんなことが可能なのでしょうか？

理由はとっても単純！

餌を十分に与えて常にサメを満腹状態にしているからです。
じゃあ、満腹じゃなかつたらほかの魚を食べるのか、と思いますよね。



もちろん、食べます。

満腹じゃないサメからしてみたら、大量の餌がこのこ泳いでるわけですから。

実際に、2万匹のイワシが一晩でいなくなったりとも……

余談

水族館でよくイワシのトルネードってありますよね。

あれは、イワシの大群の水槽にサメなどの捕食者を入れることで、イワシの動きを活発にしてるんです！





「売れ筋野菜は名前が決め手」日本農業新聞2017年12月13日の記事より

「アーマー」 「インカのめざめ」 「のびすぎでんねん」 など個性的な名前の野菜が、消費者の高い認知度を背景に需要を伸ばしているそうです。味や特徴を名前に表すことで、消費者の注目を集め、心をつかんでいるそうです。農産物のブランド戦略で、品種名や商標などのネーミングは欠かせない要素の1つであり、お客様にブランドとして認知してもらうためには、覚えてもらいやすいネーミングにする必要があります。

お客様がネーミングを覚える場合「見た目」「読み方」「意味」の3つの要素で記憶すると言われています。例えば、静岡県が栽培技術を確立した高糖度トマト「アーマー」は、静岡弁の「えら（甘いでしょう）」が名前の由来です。その甘さと印象的な名前から、ブランドトマトとして定着しました。また、カゴメが2001年から販売しているラウンドトマト「こくみトマト」シリーズは、コクがあって身がしっかりしていることから「こくみ」と名付けられたブランドトマトです。

どちらのトマトも覚えやすく親しみやすいネーミングである上に、他と区別できる意味、その言葉に対し1つしかない意味、さらに名前で商品の特徴まで説明出来てしまう優れたネーミングであると言えます。スーパーや百貨店に買い物に来たお客様が商品についてポップを見る時間は、せいぜい1秒程度で、一度に認識出来る文字もたった6文字程度だと言われております。食べて美味しい、安全安心であるとは当然ですが、これからはどんな名前で売り出すのか、ネーミングも重要であると言えます。



神さまのシステム用語・計算方法

光について

光環境を表現するための単位として様々なものがあります。その中で、光合成に関連する光環境を表現するためには、光合成光量子束密度(PPF)がより適しているとされています。

光環境を表現するための単位

照度

人の目は、555nm付近の波長の光の感度が最も良いです。照明などを設計する場合、目の感度に合わせた曲線(比視感度曲線)を持った明るさの単位が必要です。これが照度です。

単位は、lx(lux、ルックス)と表現します。照度は植物の光合成とはあまり関係のない単位であり、この単位を用いて植物の光環境を評価する事は、あまり適切ではありません。

放射束密度

波長ごとのエネルギーの強度を合計したものが、放射束密度です。さらに光合成に有効な400nmから700nmの波長範囲だけを通すフィルターを用いて測定した放射束密度のことを光合成放射束密度と呼びます。

光合成光量子束密度(PPF)

エネルギーではありません。光の粒子である光量子の数で表現した単位が、光合成光量子束密度です。光合成は葉緑素に入射する光量子の数に影響を受けます。この葉緑素の吸収波長域である400nmから700nmの波長での光量子が単位時間あたり、単位面積あたりに入射する数を示したものが、光合成光量子束密度です。単位は、 $\mu\text{mol m}^{-2}\text{s}^{-1}$ です。光合成で使用するときは、【密度】を省略する場合があります。これはSI単位で【密度】は面積と体積の両方を表すためです。



TOMOYAの英語で学ぶ今月の名言

I will prepare and some day my chance will come.

準備しておこう。チャンスはいつか必ず訪れるものだから。

- Abraham Lincoln



遙ちゃんの栽培お役立ちコーナー

1月～3月の予報

向こう3か月の見通し(1月～3月)

- ・西日本を中心に、冬型の気圧配置が強まりやすく、大陸からの寒気が流れ込みやすい見込みです。このため、向こう3か月の西日本日本海側の降水量と降雪量は平年並か多い見込みとなっています。また、西日本太平洋側の降水量は少なく、東日本太平洋側の降水量は平年並か少ない見込みです。
- ・北日本では、大陸からの寒気の影響が小さい見込みとなっております。このため、向こう3か月の気温は平年並か高く、日本海側の降雪量は平年並か少ない見込みです。また、太平洋側の降水量は平年並か多い見込みとなっています。

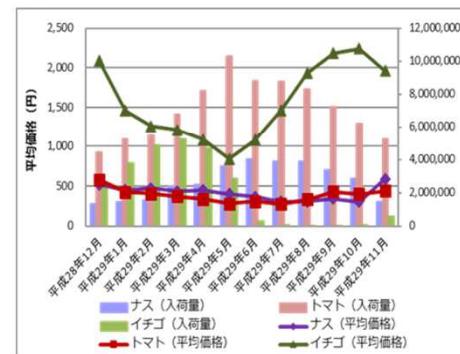
平均気温

地域	平均気温			
	1月～3月	1月	2月	3月
北日本	平年並か高い	平年並か高い	平年並か高い	平年並か高い
東日本	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並
西日本	ほぼ平年並	平年並か低い	ほぼ平年並	ほぼ平年並
沖縄・奄美	ほぼ平年並	平年並か低い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

降水量

地域	降水量			
	1月～3月	1月	2月	3月
北日本	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並
太平洋側	平年並か多い	平年並か多い	平年並か多い	ほぼ平年並
東日本	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並
太平洋側	平年並か少ない	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並
西日本	平年並か多い	平年並か多い	平年並か多い	ほぼ平年並
太平洋側	少ない	平年並か少ない	平年並か少ない	平年並か少ない
沖縄・奄美	少ない	平年並か少ない	平年並か少ない	平年並か少ない

トマト・イチゴ・ナスの平均価格と入荷量



キク・バラの平均価格と入荷量

